

## 調査結果の概要

### 1 人口の動向

#### (1) 総人口

本県の人口は、平成 20 年中に 3,271 人減少し、平成 21 年 1 月 1 日現在で 2,968,345 人となった。人口増減率は 0.11%となっている。

人口増減の内訳は、自然動態で 2,479 人の減少（増減率 0.08%）、社会動態で 792 人の減少（同 0.03%）である。

男女別人口の内訳を見ると、男が 1,366 人の減少（増減率 0.09%）、女が 1,905 人の減少（同 0.13%）であり、この結果、平成 21 年 1 月 1 日現在で男 1,476,598 人、女 1,491,747 人となっている。（統計表第 4 表）

#### (2) 性比及び人口密度

平成 20 年 10 月 1 日現在の性比は 99.0 であり、前年同月と同じであった。

また、平成 20 年 10 月 1 日現在の人口密度は 487.0 人/k<sup>2</sup>であり、前年同月を 0.4 ポイント下回った。（統計表第 1 表）

#### (3) 地域別人口

市部及び郡部別に見た平成 20 年中の人口増減は、市部が 1,479 人の減少（増減率 0.06%）、郡部が 1,792 人の減少（同 0.63%）であった。この結果、平成 21 年 1 月 1 日現在の人口は市部が 2,683,624 人、郡部が 284,721 人となっており、県人口に占める割合は市部が 90.4%、郡部が 9.6%となっている。

次に、県内 5 地域別の人口増減を見ると、県北地域が 3,383 人の減少（増減率 0.52%）、県中央地域が 972 人の減少（同 0.21%）、鹿行地域が 182 人の減少（同 0.07%）、県南地域が 3,766 人の増加（同 0.38%）、県西地域が 2,500 人の減少（同 0.43%）であった。この結果、各地域の県人口に占める割合は平成 21 年 1 月 1 日現在で県北地域が 21.7%（645,430 人）、県中央地域が 15.9%（472,848 人）、鹿行地域が 9.4%（279,638 人）、県南地域が 33.4%（989,957 人）、県西地域が 19.6%（580,472 人）となっている。（統計表第 4 表）

#### (4) 市町村別人口

市町村別の人口増減を見ると、11 市 2 町村で増加、21 市 10 町村で減少であった。最も増加数の多い市町村はつくば市（2,477 人）であり、以下、守谷市（1,374 人）、牛久市（1,158 人）、つくばみらい市（873 人）、ひたちなか市（628 人）の順となっている。

一方、最も減少数の多い市町村は日立市（1,301 人）であり、以下、筑西市（923 人）、常陸太田市（870 人）、北茨城市（666 人）、石岡市（556 人）の順となっている。

人口増減率を見ると、最も増加率の高い市町村は守谷市（2.38%）であり、以下、つくばみらい市（2.08%）、牛久市（1.46%）、つくば市（1.19%）、東海村（0.86%）の順となっている。

逆に最も減少率の高い市町村は大子町（2.04%）であり、以下、河内町（1.95%）、城里町（1.75%）、常陸太田市（1.49%）、五霞町（1.41%）の順となっている。（表 1）

表 1 市町村別人口増減数と人口増減率順位(平成20年)

人口増減数				
順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減数	市町村名	人口増減数
1	つくば市	2,477	日立市	1,301
2	守谷市	1,374	筑西市	923
3	牛久市	1,158	常陸太田市	870
4	つくばみらい市	873	北茨城市	666
5	ひたちなか市	628	石岡市	556
6	水戸市	500	稲敷市	519
7	神栖市	329	桜川市	515
8	東海村	312	常陸大宮市	446
9	鹿嶋市	305	行方市	443
10	結城市	102	大子町	429

人口増減率				
順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減率(%)	市町村名	人口増減率(%)
1	守谷市	2.38	大子町	2.04
2	つくばみらい市	2.08	河内町	1.95
3	牛久市	1.46	城里町	1.75
4	つくば市	1.19	常陸太田市	1.49
5	東海村	0.86	五霞町	1.41
6	鹿嶋市	0.47	北茨城市	1.37
7	ひたちなか市	0.40	美浦村	1.20
8	神栖市	0.35	高萩市	1.18
9	結城市	0.20	行方市	1.13
10	水戸市	0.19	稲敷市	1.08

また、市町村の人口規模を見ると、平成21年1月1日現在で20万人以上が2市（水戸市、つくば市）10万人以上20万人未満が6市（日立市、土浦市、古河市、取手市、ひたちなか市、筑西市）である。以上8市の合計は1,331,702人であり、県人口の約45%を占めている。郡部では3万人以上5万人未満の町村が3町村、2万人以上3万人未満の町村が4町、1万人以上2万人未満の町村が4町村となっている。（表2）

表2 人口規模別市町村数の推移（昭和62年～平成21年）

各年1月1日現在 人口（人）	昭和	平成																						
	62 (年)	63	64	平成 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
総 数	92	89	88	88	88	88	87	87	86	85	85	85	85	85	85	84	83	83	75	50	44	44	44	
市	市 計	19	20	20	20	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	21	22	22	23	30	32	32	32	
	20万以上	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	
	10万以上20万未満	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	6	6	6	6	
	7.5万以上10万未満	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	5	5	5
	5万以上7.5万未満	5	6	6	6	7	7	7	7	6	8	8	8	7	7	7	7	7	7	8	8	9	9	9
	3万以上5万未満	9	8	8	8	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	9	10	10	10
	3万未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-
町 村	郡 計	73	69	68	68	68	67	67	67	65	65	65	65	65	65	63	61	61	52	20	12	12	12	
	5万以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-
	3万以上5万未満	12	10	12	12	12	12	13	13	13	12	12	12	12	12	11	11	10	10	10	4	3	3	3
	2万以上3万未満	18	19	16	16	16	16	15	15	15	16	15	15	15	15	14	12	11	11	10	6	4	4	4
	1万以上2万未満	26	23	23	23	23	24	23	24	20	22	23	23	23	23	24	25	25	25	22	7	4	4	4
	0.5万以上1万未満	15	15	15	15	14	13	12	11	14	10	10	10	10	10	10	9	9	9	8	3	1	1	1
0.5万未満	2	2	2	2	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1	-	-	-	-	

## 2 自然動態

### (1) 自然増減

平成 20 年中の自然動態は、出生 24,893 人、死亡 27,372 人で 2,479 人の減少となった。自然増減率は 0.08%となっている。

5 地域別の自然増減率を見ると、県南地域が 0.05%と最も高く、以下、鹿行地域 0.09%、県央地域 0.11%、県西地域 0.15%、県北地域 0.20%の順となっている。

市町村別の自然増減率については、守谷市が 0.51%と最も高く、以下、つくば市 (0.41%)、東海村 (0.36%)、神栖市 (0.30%)、牛久市 (0.25%) の順となっている。(統計表第 6 表及び表 3)

### (2) 出生

平成 20 年中の出生者数は 24,893 人 (男 12,873 人、女 12,020 人)、出生率は 8.4‰であった。

5 地域別の出生率を見ると、鹿行地域が 8.8‰と最も高く、以下、県南地域 (8.7‰)、県西地域 (8.3‰)、県央地域 (8.2‰)、県北地域 (7.8‰) の順となっている。

市町村別の出生率を見ると、神栖市が 10.6‰と最も高く、以下、つくば市 (10.5‰)、守谷市東海村 (10.3‰)、ひたちなか市 (9.9‰) の順となっている。(表 3)

### (3) 死亡

平成 20 年中の死亡者数は 27,372 人 (男 14,831 人、女 12,541 人)、死亡率は 9.2‰であった。

5 地域別の死亡率を見ると、県西地域が 9.9‰と最も高く、以下、県北地域 (9.8‰)、鹿行地域 (9.6‰)、県央地域 (9.4‰)、県南地域 (8.2‰) の順となっている。

市町村別の死亡率を見ると、大子町が 16.3‰と最も高く、以下、河内町 (14.6‰)、行方市 (12.7‰)、常陸太田市 (12.5)、城里町 (12.3‰) の順となっている。(表 3)

**表 3 自然増減、出生率及び死亡率順位 (平成20年)**

(自然増減率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	自然増減率 (%)	市町村名	自然増減率 (%)
1	守谷市	0.51	大子町	1.18
2	つくば市	0.41	河内町	0.96
3	東海村	0.36	常陸太田市	0.81
4	神栖市	0.30	城里町	0.76
5	牛久市	0.25	五霞町	0.70

(出生率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	出生率 (‰)	市町村名	出生率 (‰)
1	神栖市	10.6	常陸太田市	4.5
2	つくば市	10.5	大子町	4.5
3	守谷市	10.3	利根町	4.7
4	東海村	10.3	城里町	4.8
5	ひたちなか市	9.9	河内町	5.0

(死亡率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	死亡率 (‰)	市町村名	死亡率 (‰)
1	大子町	16.3	守谷市	5.2
2	河内町	14.6	つくば市	6.5
3	行方市	12.7	東海村	6.7
4	常陸太田市	12.5	牛久市	7.0
5	城里町	12.3	龍ヶ崎市	7.3

### 3 社会動態

#### (1) 社会増減

平成 20 年中の社会動態は、転入者数 125,385 人、転出者数 126,177 人で 792 人の転出超過となった。社会増減率は 0.03%となっている。

市部及び郡部別に見ると、市部で 32 人の転入超過、郡部で 824 人の転出超過となった。5 地域別では、県北地域が 2,068 人の転出超過、県央地域が 441 人の転出超過、鹿行地域が 61 人の転入超過、県南地域が 3,264 人の転入超過、県西地域が 1,608 人の転出超過となった。

市町村別では、転入超過が 11 市 3 町村、転出超過が 21 市 9 町村となっている。転入超過の割合が最も高い市町村はつくばみらい市(社会増減率 2.16%)であり、以下、守谷市(同 1.87%)、牛久市(同 1.21%)、つくば市(同 0.79%)、東海村(同 0.50%)の順となっている。

逆に転出超過の割合が最も高い市町村は城里町、河内町(社会増減率 0.99%)であり、以下、美浦村(同 0.95%)、北茨城市(同 0.88%)、高萩市(同 0.85%)、の順となっている。(統計表第 8 表及び表 4)

#### (2) 移動数

平成 20 年中の移動数は 251,562 人、移動率は 8.47%であった。

また、県内市町村間の移動状況を見ると、転入者数 53,844 人、転出者数 53,965 人であった。

一方、県外間の移動状況を見ると、転入者数 67,833 人、転出者数 68,655 人であった。  
市町村別の移動率を見ると、つくば市が 14.45%と最も高く、以下、牛久市(11.88%)、守谷市(11.51%)、土浦市(10.97%)、阿見町(10.87%)の順となっている。(統計表第8表及び表4)

**表 4 社会増減率及び移動率順位(平成20年)**

社会増減率					移動率				
順位	上位5市町村		下位5市町村		順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	社会増減率(%)	市町村名	社会増減率(%)		市町村名	移動率(%)	市町村名	移動率(%)
1	つくばみらい市	2.16	城里町	0.99	1	つくば市	14.45	大子町	4.07
2	守谷市	1.87	河内町	0.99	2	牛久市	11.88	桜川市	4.66
3	牛久市	1.21	美浦村	0.95	3	守谷市	11.51	常陸太田市	4.93
4	つくば市	0.79	北茨城市	0.88	4	土浦市	10.97	河内町	4.96
5	東海村	0.50	大子町	0.86	5	阿見町	10.87	城里町	5.24

(3) 地域間移動

平成20年中の地域間移動数について、県内は5地域間、県外は近隣都県別で見ると、県内・県外いずれにおいても県南地域の移動数が最も多くなっている。

県内間移動を見ると、県南地域では他の4地域に対してすべて転入超過であった。

県外間移動を見ると、近隣都県への転出超過数は東京都が2,469人で最も多く、以下、千葉県(1,086人)、埼玉県(784人)、神奈川県(758人)、栃木県(462人)の順となっている。5地域別に見ると、鹿行地域、県南地域が転入超過であり、他の地域は転出超過であった。(表5)

表5 県内及び県外(近隣都県)別地域間移動数及び超過数(平成20年)

地 域	茨城県		県北地域		県央地域		鹿行地域		県南地域		県西地域			
	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)		
全体	転入計	121,677	100.0	19,693	100.0	19,415	100.0	11,259	100.0	51,554	100.0	19,756	100.0	
	転出計	122,620	100.0	22,037	100.0	19,634	100.0	11,142	100.0	48,456	100.0	21,351	100.0	
	超過数	943		2,344		219		117		3,098		1,595		
県内	転入者数	県内計	53,844	44.3	10,788	54.8	10,283	53.0	3,591	31.9	21,742	42.2	7,440	37.7
		県北地域	11,861	9.7	6,411	32.6	3,448	17.8	285	2.5	1,388	2.7	329	1.7
		県央地域	9,788	8.0	2,687	13.6	3,348	17.2	664	5.9	2,487	4.8	602	3.0
		鹿行地域	4,000	3.3	330	1.7	722	3.7	1,978	17.6	838	1.6	132	0.7
		県南地域	20,151	16.6	1,006	5.1	2,091	10.8	527	4.7	14,449	28.0	2,078	10.5
		県西地域	8,044	6.6	354	1.8	674	3.5	137	1.2	2,580	5.0	4,299	21.8
	転出者数	県内計	53,965	44.0	12,010	54.5	9,715	49.5	4,011	36.0	20,190	41.7	8,039	37.7
		県北地域	10,809	8.8	6,472	29.4	2,654	13.5	324	2.9	1,007	2.1	352	1.6
		県央地域	10,355	8.4	3,493	15.9	3,346	17.0	734	6.6	2,113	4.4	669	3.1
		鹿行地域	3,585	2.9	290	1.3	662	3.4	1,978	17.8	520	1.1	135	0.6
		県南地域	21,784	17.8	1,423	6.5	2,454	12.5	836	7.5	14,473	29.9	2,598	12.2
		県西地域	7,432	6.1	332	1.5	599	3.1	139	1.2	2,077	4.3	4,285	20.1
	超過数	県内計	121	*	1,222	*	568	*	420	*	1,552	*	599	*
		県北地域	1,052	*	61	*	794	*	39	*	381	*	23	*
		県央地域	567	*	806	*	2	*	70	*	374	*	67	*
		鹿行地域	415	*	40	*	60	*	0	*	318	*	3	*
		県南地域	1,633	*	417	*	363	*	309	*	24	*	520	*
		県西地域	612	*	22	*	75	*	2	*	503	*	14	*
県外	転入者数	県外総数	67,833	55.7	8,905	45.2	9,132	47.0	7,668	68.1	29,812	57.8	12,316	62.3
		栃木県	3,877	3.2	396	2.0	464	2.4	115	1.0	843	1.6	2,059	10.4
		群馬県	1,128	0.9	144	0.7	160	0.8	59	0.5	442	0.9	323	1.6
		埼玉県	6,127	5.0	636	3.2	834	4.3	443	3.9	2,418	4.7	1,796	9.1
		千葉県	9,653	7.9	862	4.4	910	4.7	1,743	15.5	5,187	10.1	951	4.8
		東京都	11,011	9.0	1,539	7.8	1,659	8.5	992	8.8	5,532	10.7	1,289	6.5
		神奈川県	5,288	4.3	775	3.9	701	3.6	590	5.2	2,586	5.0	636	3.2
		その他の道府県	30,749	25.3	4,553	23.1	4,404	22.7	3,726	33.1	12,804	24.8	5,262	26.6
	転出者数	県外総数	68,655	56.0	10,027	45.5	9,919	50.5	7,131	64.0	28,266	58.3	13,312	62.3
		栃木県	4,339	3.5	455	2.1	542	2.8	116	1.0	835	1.7	2,391	11.2
		群馬県	1,249	1.0	203	0.9	237	1.2	64	0.6	392	0.8	353	1.7
		埼玉県	6,911	5.6	862	3.9	949	4.8	425	3.8	2,414	5.0	2,261	10.6
		千葉県	10,739	8.8	1,183	5.4	1,412	7.2	1,629	14.6	5,370	11.1	1,145	5.4
		東京都	13,480	11.0	2,369	10.8	2,071	10.5	1,028	9.2	6,187	12.8	1,825	8.5
		神奈川県	6,046	4.9	1,044	4.7	951	4.8	547	4.9	2,638	5.4	866	4.1
		その他の道府県	25,891	21.1	3,911	17.7	3,757	19.1	3,322	29.8	10,430	21.5	4,471	20.9
	超過数	県外総数	822	*	1,122	*	787	*	537	*	1,546	*	996	*
		栃木県	462	*	59	*	78	*	1	*	8	*	332	*
群馬県		121	*	59	*	77	*	5	*	50	*	30	*	
埼玉県		784	*	226	*	115	*	18	*	4	*	465	*	
千葉県		1,086	*	321	*	502	*	114	*	183	*	194	*	
東京都		2,469	*	830	*	412	*	36	*	655	*	536	*	
神奈川県		758	*	269	*	250	*	43	*	52	*	230	*	
その他の道府県		4,858	*	642	*	647	*	404	*	2,374	*	791	*	

注1) 転入は表側から表頭への、また転出は表頭から表側への移動者数である。

2) 県内の転入者数及び転出者数は、各市町村ごとの転入者数及び転出者数を積み上げ、それを5地域別及び県全体で表したものである。

3) 超過数とは、以下の内容を意味するものである。

・表頭から表側に対しては、正の数は転入超過を表し、負の数は転出超過を表すものである。

・表側から表頭に対しては、正の数は転出超過を表し、負の数は転入超過を表すものである。

4) その他の県には国外を含む。

5) その他の移動者(従前の住所地なし、転出先不明等)数は含まない。

(4) 年齢別社会動態

平成20年中の県内における年齢別転入及び転出者数を5歳階級別に見ると、20歳～24歳（1,753人）及び25歳～29歳（139人）において転出超過が多くなっている。転出超過数を各歳別に見ると、22歳が1,229人の転出超過（転入5,043人，転出6,272人）と最も多く，次いで23歳が374人（転入4,664人，転出5,038人），24歳が189人（転入5,102人，転出5,291人）となっている。（統計表第13表及び図5）

地域別の社会増減数を5歳階級別に見ると，県北地域，県央地域，県南地域，県西地域では20歳～24歳，鹿行地域では30歳～34歳の転出超過が多くなっている。（図6）

図5 年齢(5歳階級)別転入及び転出者数

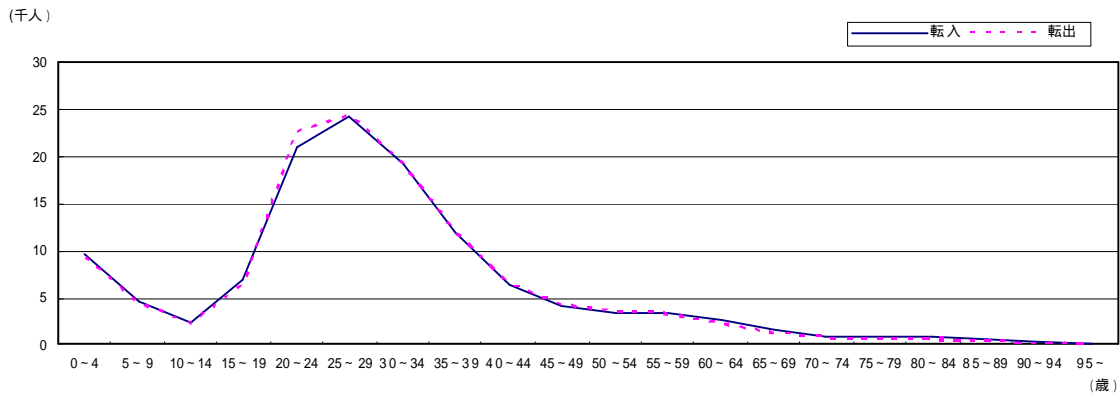
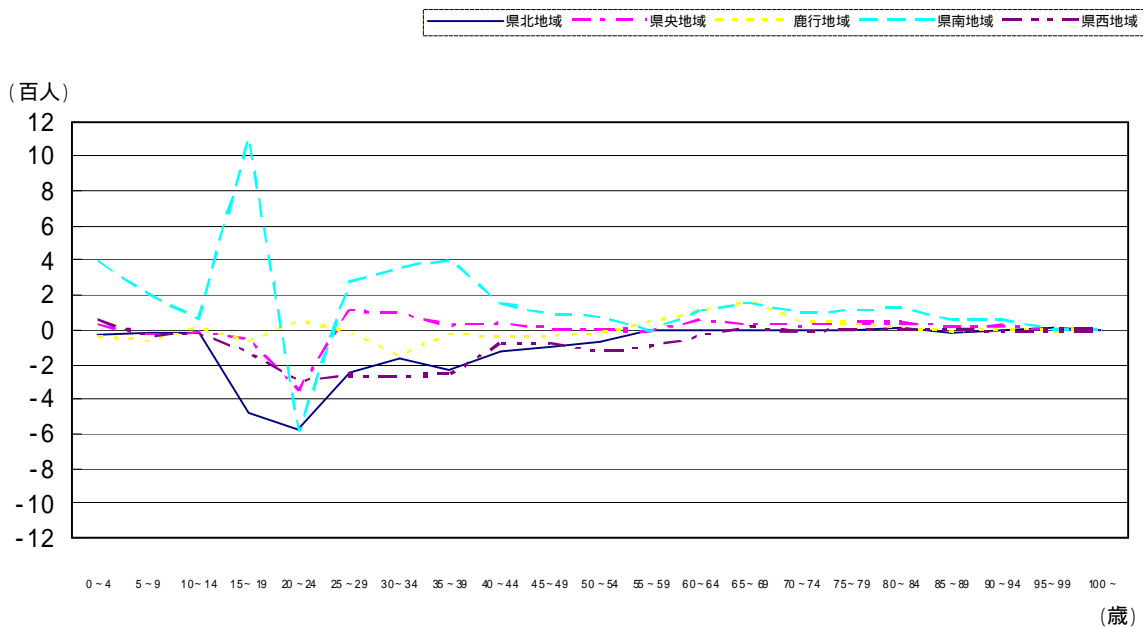


図6 地域及び年齢(5歳階級)別社会増減数(平成20年)



4 世帯数,1世帯あたり人員

平成21年1月1日現在の世帯数は1,077,680世帯であり，平成20年中に14,095世帯増加し，増減率は1.33%となっている。（統計表第4表）

1世帯あたり人員については，平成20年10月1日現在2.76人となっている。（統計表第1表及び図7）



図7 人口増減率及び世帯数増減率の推移

